

第2回伊賀市総合計画審議会（Aグループ）議事録

開催日時	2019（令和元）年10月1日（火）13:00～16:30
開催場所	伊賀市役所本庁 405 会議室
出席委員	森野 廣榮（【1号委員】伊賀市環境保全市民会議） 松山 隆治（【1号委員】伊賀市農業委員会） 大北 薫（【5号委員】消防団女性部） ○岩崎 恭彦（【1号委員】三重大学人文学部） ※ ○はリーダー
会議日程	1 あいさつ 2 外部評価 （1）13時05分～14時05分 2-1-③事故犯罪防止（人権生活環境部） ～休憩（5分）～ （2）14時10分～15時10分 2-1-②消防救急（消防本部） ～休憩（5分）～ （3）15時15分～16時15分 3-2-①農業（産業振興部） ※（1）～（3）のそれぞれ1時間の内訳は次のとおり （a）市の担当者より施策の内容および施策評価シートを説明（約10分） （b）外部評価委員が説明に対して質問や確認、補足説明を要請し、担当が回答（約15分） （c）外部評価委員が説明内容に対する所見、助言、提言等を行う（約20分） （d）外部評価委員の意見をまとめ、委員会として評価を行う（約15分） 3 その他
会議進行 （事務局） （総務部長）	開会 定刻になりましたので、これより、Aグループによる外部評価をはじめさせていただきます。 最初に総務部長の稲森よりご挨拶をさせていただきます。 1 あいさつ 本日は、大変お忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。 伊賀市の外部評価は試行実施として今年度で4年目を迎えました。皆様方のご協力をいただきながら、市が実施する基本施策の評価に対する客観性や透明性を高めつつ、市職員の意識改革と事務事業の見直しに取り組んできたところです。 制度として一定の構築が図れてきたのかなと感じています。 先の総合計画審議会でもご説明させていただきましたが、今、伊賀市は、平成29年度から令和2年度までを計画期間とする「伊賀市第2次再生計画」の目標達成に向け、取り組んでいます。 この「伊賀市第2次再生計画」は47の基本施策で構成されており、これら基本施策の

(事務局)	下には合計で約 500 の事務事業が存在しています。事務事業については、それぞれ担当の所属長が評価を行い、その結果を踏まえ、47 の基本施策に対しては関連の部局長が評価をする仕組みとなっています。 今回皆様をお願いいたしますのは、基本施策について、部局長が行いました評価が適正であるかをチェックしていただくという作業です。 いわゆる市民目線による客観的な視点での評価は、時代の流れや市民ニーズを的確に把握し、事業の見直しと改善を推進するためには必要不可欠と考えており、大変期待を寄せているところです。 関係部局の説明を聞いていただき、各部局が適正に評価を行っているのか、委員皆様のそれぞれの視点から、忌憚ない御意見を頂きたいと思います。 本日は長時間に及びますが、よろしくお願いいたします。 2 外部評価 本日、使用します資料は、主に行政経営報告書となります。その他、各施策を構成する主な事務事業にかかる事務事業評価シートと、皆様から事前にいただきました質問に対する回答につきましては、事前に送付させていただいておりますが、本日、予備を用意させていただいておりますので、お持ちでない方は申し出ください。 稲森総務部長のあいさつにもありましたが、本日の外部評価は、行政が行った評価が適正であるかという点をチェックしていただくことになりますので、よろしくお願いいたします。 また、本日の日程ですが、本日は3施策について評価を行っていただきます。1 施策、約 1 時間を予定しており、内容としましては、始めに、「市の担当者より施策の内容および施策評価シートを説明」で約 10 分、「外部評価委員が説明に対して質問や確認、補足説明を要請し、担当が回答」で約 15 分、「外部評価委員が説明内容に対する所見、助言、提言等を行う」で約 20 分、ここで市の担当者は退室し、「外部評価委員の意見をまとめ、委員会として評価を行う」で約 15 分の合計 1 時間を予定しております。飽くまで目安ですので、時間配分につきましてはグループリーダーにお任せいたします。時間内に終了できるよう調整をお願いします。 1 施策終了ごとに約 5 分の休憩を設け、人権生活環境部、消防本部、産業振興部の順で、施策ごとに、説明から質疑応答、評価までを行っていただきます。 最終、グループリーダーからグループの意見をまとめた外部評価書を提出いただきます。外部評価書は皆様全員のお手元に配らせていただいております。リーダー以外の方につきましては、評価の際のメモ等にご利用いただければと思います。本日、皆様に評価いただいた結果は他のグループの評価結果と合わせ、外部評価報告書（案）として取りまとめます。 それでは、以降の進行をグループリーダーである岩崎会長にお任せしますので、よろしくお願いいたします。
-------	--

(委員)

質疑応答を通じて 90 分のフルコースの救命講習の受講者のみを指標としてカウントし、45 分の入門コースについては従来カウントしてこなかったことが明らかになった。この点を踏まえて実態に即した指標の見直しをしていただくのが適切かと思う。

質疑応答を通じて 90 分のフルコースの救命講習の受講者のみを指標としてカウントし、45 分の入門コースについては従来カウントしてこなかったことが明らかになった。この点を踏まえて実態に即した指標の見直しをしていただくのが適切かと思う。

前回の外部評価では、指標の設定について厳しい意見が多く出た。これを受け、設定には至らなかったものの、サブ指標の設定について検討を行った事実については確認することができた。

まちづくりアンケートにおいて昨年度より満足度が下がっているが、結果分析からは課題の洗い出しや改善策が具体的に見えてこない。

出前講座の目標設定が甘い。39 の自治協があるのだから、年間最低でも 3 ～ 4 自治協に対して出前講座を行うべきではないか。

防犯協会の事業内容、負担金の使途についても検証を行うべき。

指標設定については次期計画策定に向け、さらなる検討をお願いしたい。

出前講座の実施に向け課題が多い。(自治協からの依頼待ちであり行政からの働きかけに乏しい。働きかけの手段についてもチラシの配布に終始している。)

より有効な改善策についてさらに模索する必要がある。

警察と連携した協議会の新設など、一定の評価のできる具体的な取り組み案も確認することができた。

啓発の実施回数を増やすための取り組みとして、市民により伝わる方法の検討も必要ではないか。また、高齢者等にきちんと伝わるよう、わかりやすい内容にすることも必要ではないか。

消費者相談員の設置について、報酬額が適切であるか(費用対効果について)検討すべき。

犯罪抑止力としての防犯カメラの設置について検討いただきたい。

横断歩道等の路面表示が摩耗により薄れている。適切に補修されたい。

保育所の園外散歩について、注意喚起や看板の設置だけではなく積極的な対応をお願いしたい。

異なる制度を利用する集落数の合計値を指標とすること自体の是非について意見が及んだ。(本指標では地域の姿が見えてこない など)

事業数が多く、予算規模も大きい農業に関する施策について、現行の 1 つの成果指標のみでという評価手法はあまり適切とは言えないのではないか。(高付加価値化や獣害対策等について別途指標を設定するなど、設定の仕方に工夫があるとよいのではないかなど)

(事務局)	指標の目標設定が甘いのではないか。 「農業」という施策に複数の事業を束ねすぎではないか。(評価ではなく総合計画の問題かもしれないが) 農業をめぐる普遍的な課題に対し、新技術や国の制度などを活用しつつ継続的な事業の見直し、改善が行われていると評価してよいのではないか。 各事業の具体的な見直しの取り組みについては様々に盛り込まれている。 人農地プランへの取り組み支援や各種支払い事業への参加取りまとめの案内などについて充実すべき。 高付加価値化については、各地域の区長に働きかけてもらっているが、区長の中には農業をしていない人もおり、地域ごとに取り組みの温度差がみられる。解消のための行政の取り組みに期待する。 申し訳ございませんが、今回の外部評価は、行政が行った評価について適正であるかどうかチェックいただくこととしております。今の質問はまた別の機会でお願いいたします。 皆様、お疲れさまでした。岩崎会長、長時間に渡り進行をいただきありがとうございます。本日、評価いただきました内容を外部評価報告書(案)としてまとめ、10月30日の総合計画審議会でお諮りさせていただきます。 審議会で承認をいただきました後に、後日市長へ答申を行う予定です。 3 その他 続きまして、その他についてですが、皆様からご意見、ご質問などいただきたいと思いますがいかがでしょうか。 以上よろしいでしょうか。 本日は長時間に渡りご審議いただきありがとうございました。これで本日の施策外部評価を終了させていただきます。ありがとうございました。
-------	--